



Kagawa Cyber Security Information

香川県サイバーセキュリティ連絡ネットワーク通信Vol.76

ネットいじめをなくそう

近年、コロナウイルスの影響でオンライン授業やテレワークが広まり、非対面のやりとりが活発になっています。

その一方、インターネット上で他人の悪口を書きこむ等のネットいじめ・誹謗中傷が深刻となり、自殺、不登校、重大事件が発生しています。

ネットいじめの特徴

- ・ 場所や時間に関係なく行われる
- ・ 外部の第三者から、発見しづらい
- ・ いじめがエスカレートしやすい



ネットいじめの事例

ネット上に他人の悪口を書き込む

裏サイト等で、「〇〇さん、キモイ」等と他人の悪口を書き込む。最近では、学習用端末を使って悪口を送信する、無断で他人を撮影し、いたずら加工した画像を拡散する手口も発生している。



他人のなりすましアカウントを利用する

他人の画像や個人情報を使った「なりすましアカウント」を作り、不適切な投稿をする。

また、他人のID・パスワードを盗み見る、本人から聞き出す等の不正アクセス行為による手口も存在する。

～適切にインターネットを利用するために～

- 他人の悪口や誹謗中傷する内容を書き込まない。
- 無断で他人の個人情報を投稿しない。
- 家庭での利用ルールを決めたり、フィルタリングサービスを活用する。
- ひとりで悩まず、家族、学校や警察に相談する。

ネットは非常に便利ですが、相手の顔が見えないために無責任で過激な表現が使われがちであり、行為がエスカレートしてしまうこともあります。ネットの使い方を間違えると他人を傷つけるだけでなく、自分自身にも災いが降りかかる怖いものなのです。改めて、正しいネットの利用方法を友人や家族等とよく考えてみましょう。

